



実践団体情報 (1 団体あたり 1 回だけ記入する内容です)

必要に応じてセル (表の枠) の高さを調整していただいて構いません

記入日	西暦 2020 年 1 月 13 日 (2020 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	特定非営利活動法人 i-care kids 京都
代表者名	藤井 落
プラン全体のタイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	医療的ケア児と家族のための防災チャレンジ
電話番号	090-9167-2606
メールアドレス	office@i-carekids.com
実践団体の説明 団体の来歴や特徴などを書いてください	近年新生児医療の発達とともに急増している医療的ケア児とその家族を支援するために 2019 年 1 月に設立。2020 年 4 月に医療的ケア児を積極的に受け入れる小規模保育園キコレを開園。保育事業を柱に、家族支援事業、関係機関の連携事業を展開している。
所属メンバー 団体のメンバーについてお名前やご所属、役割などを差し支えない範囲で書いてください	藤井 落 (代表理事・小規模保育園キコレ園長) 長谷川 功 (はせがわ小児科・法人理事)
活動地域 〇〇地方・〇〇校区など活動地域の範囲に合わせて記載してください。活動範囲が小さい場合には都道府県名など場所が特定できる情報を入れてください	京都府京都市
活動開始時期・結成時期	2019 年 1 月
過去の活動履歴・受賞歴 これまで行ってきた活動や受賞歴 (チャレンジプラン以外も含む) をご記入ください	京都子どもファンド、ベネッセ子ども基金重い病気を抱える子どもの学び支援活動助成、ザ・ボディショップニッポン基金事業採択、京都府女性活躍推進事業採択、小林製薬青い鳥財団助成採択等

プラン全体の概要	<p>小規模保育園キコレ (2020 年度は医療的ケア児 3 名、重度障がい児 4 名の計 7 名が在籍) にて以下の項目を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 防災マニュアル、非常時持ち出し袋、避難計画の作成 ② 毎月 1 回の避難訓練の実施 ③ 地域の警察署、消防署、行政、専門家との連携事業 ④ 保護者への啓蒙活動
----------	--



プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4月	<ul style="list-style-type: none"> 園での防災担当者の決定 地域の警察署、消防署へのコンタクト、打ち合わせの日程調整 「年間避難訓練計画」の立案 	<ul style="list-style-type: none"> 他園の防災マニュアルなどの収集、医療的ケア児に関する防災関連情報収集 	「年間避難訓練計画」の作成 「防災マニュアル」の作成 非常時持ち出し袋の作成 4月10日(金) 左京区消防署からの指導(コロナのため屋外のみ) 4月25日(金) 保育中に震度4の地震が起こったことを想定し、避難訓練
5月	避難訓練の立案		5月15日(金) 保育中に震度5の地震が起こったことを想定し訓練。
6月	避難訓練の立案 消防署との救急救命講習の日程調整		6月17日(水) 不審火の避難訓練 6~7月にかけて窓ガラスに飛散防止フィルムを貼付
7月	避難訓練の立案	水害の際の避難計画を行政に提出	7月13日(月) 大雨特別警報が発令されたという想定での訓練。 7月20日(月) 救急救命講習を消防署の指導のもと実施。
8月	避難訓練の立案 防災マニュアルの見直し		8月21日(金) 不審者侵入の訓練を警察署の指導の元実施。
9月	避難訓練の立案		9月15日(火) 保育中に震度3程度の地震が起こった想定で訓練実施。人工呼吸器使用の園児が初めて訓練に参加。
10月	避難訓練の立案		10月26日(月) 屋外にて不審者に遭遇したという想定で訓練実施。
11月	避難訓練の立案	防災必要物品の購入	11月4、5日管理者が防火管理者研修に参加。 11月24日(火) 保育園の上階で火事が発生した想定で訓練実施。消火訓練も実施。
12月	1月の避難訓練アドバイザーの後藤先生にコンタクトを取る 避難訓練の立案	非常時持ち出し袋の点検	12月17日(木) 少人数保育の時間帯に震度3の地震が発生したという想定で訓練実施。



1月	避難訓練の立案	防災必要物品の購入。非常食についての検討。園児へ防災紙芝居の使用など防災教育の実施 次年度に向けて防災マニュアルの見直し	1月18日(月)阪神淡路大震災級の地震が発生したという想定で、佛教学の後藤先生にアドバイザーとして来ていただき訓練を実施予定。
2月	避難訓練の立案	園児への防災紙芝居の使用など防災教育の実施	火災の想定で訓練実施
3月	避難訓練の立案		3月11日シェイクアウト訓練に参加。

プラン全体の反省点・課題・感想	<p>保育園開園1年目で様々なシミュレーションで避難訓練が実施でき、それを元に園での防災(非常時持ち出し袋作成、予備の医療物品の準備、飛散防止フィルムの貼付、保護者への伝達方法の検討、けがを減らすための環境設定等)につなげることができたのは有意義であった。新型コロナウイルスの影響で、当初計画していた医療的ケア児とその家族や関係者とのシンポジウムは実施することが出来なかったため、次年度以降の課題として持っておきたい。また地域の横のつながりの構築など今年度コロナの影響で取り組みが難しかったことについては、今後継続して取り組んでいきたいと考えている。</p>
今後の活動予定	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の避難訓練や防災の取り組みについては、今後も継続して行う予定である。園児もゆるやかに毎年出入りがあるので、在園児の命をしっかりと守ることができる体制づくりが不可欠である。また、障害があろうとなかろうと、いかに保育園の園児に災害時に身を守る方法を伝えていくかは今後も検討し続ける必要がある。 ・保護者を巻き込んでの災害時のシミュレーション、情報共有などにも取り組んでいきたい。 ・新型コロナウイルスの感染が落ち着けば、家族や関係者向けのシンポジウムなども開催していく予定である。